

## 平成 18 年度における国等の機関の環境物品等の調達実績について(速報値)

## 1. 調達実績の概要

平成 18 年度における国等の機関の特定調達物品等の調達実績は、平成 18 年度に新たに追加された品目を含め、公共工事分野の品目を除く 156 品目中 147 品目 (94.2%) において判断の基準を満たす物品等が 95%以上の高い割合で調達されており、平成 17 年度の調達実績と比較しても極めて高い水準にある。これは、国等の機関が調達方針に基づき、特定調達物品等の計画的かつ優先的な購入に積極的に取り組んだ結果と評価できる。

表 1 調達率<sup>1</sup>が 95%以上の品目数（公共工事分野の品目を除く）（単位：品目数）

平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度	平成 15 年度	平成 14 年度	平成 13 年度
147 品目 / 156 品目	136 / 146	133 / 146	117 / 135	98 / 124	40 / 90

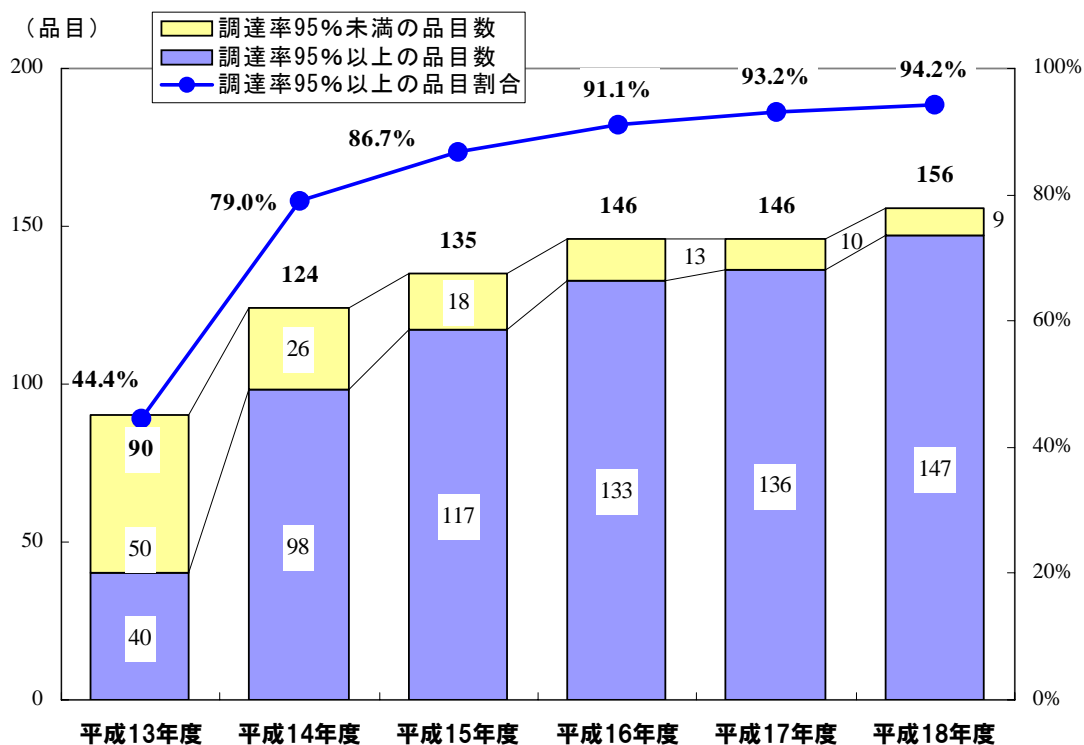


図 1 調達率が 95%以上の品目数の推移（公共工事分野の品目を除く）

<sup>1</sup> 国等の全機関の特定調達物品等の調達量を当該特定調達品目の総調達量で除した値

## 2. 主な分野における調達実績

平成 18 年度における主な分野の特定調達品目の調達実績は、以下のとおりである。

表 2 平成 17 年度の調達実績と調達率が比較可能な品目の比較（単位：品目数）

分野	紙類	文具類	オフィス家具等	OA 機器	家電製品・エアコン等	温水器等	照明	消火器	繊維製品等	役務	合計
調達率上昇	1	10	1	0	0	2	1	1	5	1	22
ほぼ同等	6	58	8	11	7	2	1	0	6	1	100
調達率下降	1	8	1	0	0	0	0	0	4	0	14
合計	8	76	10	11	7	4	2	1	15	2	136

### （1）紙類

- コピー用紙の総調達量は、57,676 トンと平成 17 年度の 58,008 トンから横ばいとなっているが、平成 15 年度以降、毎年度総調達量が削減されており、各機関の使用削減努力が維持されているものと考えられる
- ほぼ全ての品目（インクジェットカラープリンター用塗工紙を除く）において 96%以上の高い調達率

### （2）文具類

- 79 品目中、77 品目が 95%以上の高い調達率。また、特に調達量の多い筆記具類については、総調達量が総じて削減

### （3）OA 機器、家電製品、エアコンディショナー等、温水器等

- OA 機器はすべての品目において 99%以上の高い調達率（コピー機等 99.8%、プリンタ等 99.7%他）
- 平成 18 年度に新たに追加された記録用メディア（98.6%）及び一次電池又は小型充電式電池（99%）についても高い調達率
- 家電製品、エアコンディショナー等、温水器等についてはすべての品目において 98%以上の高い調達率

### （4）照明

- 平成 18 年度に新たに追加された電球形状のランプについては、98.1%と高い調達率

### （5）自動車等

- 一般公用車においては、政府の全ての一般公用車について低公害車への切り替えが完了しており、今後とも維持されることが重要
- 一般公用車以外の調達率は、平成 17 年度の 54.0%から、85.7%へ大幅に上昇
- 平成 18 年度に新たに追加された一般公用車用タイヤ（98.4%）及び 2 サイクルエンジン油（98.9%）についても、高い調達率

### （6）繊維製品等

- 平成 17 年度に特定の機関において費用の増加、競争性の確保の理由から調達率が 59.7%と低かったふとんについては、平成 18 年度は 84.6%と大幅に上昇。
- 作業手袋については 75.1%と平成 17 年度の 81%からやや下降。主な理由は費用の増加、機

能上、性能上の必要性

**(7) 設備**

- 平成 18 年度に導入した太陽光発電システムの設備容量は 417kW と、平成 17 年度の約 2 倍
- 燃料電池の新規導入設備容量は 9kW と、平成 17 年度の 2kW から 4.5 倍の増加

**(8) 公共工事**

- 調達可能な地域や数量が限られている場合やコストの問題等により、特定調達物品数量割合が低いものがあるが、事業毎の特性による使用可能な範囲において積極的な調達が行われている。

**(9) 役務**

- 平成 18 年度に新たに追加された庁舎管理及び清掃については、いずれも 99.2% と極めて高い調達率